

保護者の皆様

枚方市立招提北中学校
校長 山本 俊夫

令和元年度学校教育自己診断の集計結果と改善に向けて（概要）

新春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました「令和元年度学校教育自己診断」にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。保護者・生徒分の集計結果や今後の課題、改善点についてご報告申し上げます。

結果の詳細につきましては、2ページ以降をご覧ください。

1、学校教育自己診断(生徒用)について

①「肯定的な評価」（「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」）が高かった設問

設問2(95%)「先生は、生徒の意見や考えを大切にしてくれる。」

設問27(95%)「道徳の時間などで、人の生き方や心のあり方について、考えたり学んだりする機会がある。」

設問29(96%)「人権の大切さや人の命の重みなどについて、考えたり学んだりする機会がある。」

②「肯定的な評価」が低かった設問

設問3(71%)「落ち着いた雰囲気の中で、学習に取り組んでいる。」

設問19(64%)「学校で学んでいるすべてのことが将来のために必要な力だと思う。」

設問20(63%)「家で宿題や今日学んだことの『振り返り』をしている。」

設問3については、「落ち着いた雰囲気」が「静かに先生の話聞いて、黒板をうつす授業」のイメージととらえられたようです。そのような時もありますが、ペアやグループでの対話的な活動を取り入れた学習形態を多くとっているために、このような結果となったのかと考えています。これらの結果を受け、「今の『学び』が将来どうつながるのか」を意識し、「誰もが学びに夢中になる」授業づくり、「学びに向かう力」の育成に努めてまいります。

2、学校教育自己診断(保護者用)について

①「肯定的な評価」（「よく当てはまる」、「やや当てはまる」）が高かった設問

設問2(80%)「先生は、子どもの意見や考えを大切にしてくれる。」

設問8(83%)「先生は、子どもの学習や係活動、行事で努力したことを認めたりほめたりしてくれる。」

設問22(83%)「学校は、学校の様子や子どもの活動を情報発信している。」

②「肯定的な評価」が低かった設問

設問6(64%)「子どもが授業でわからない事について、友達や先生に質問しやすいと言っている。」

設問20(66%)「学校は、子どもの資質・能力の育成によく取り組んでいる。」

設問12(68%)「先生は、子どもに対してカウンセリングマインド（受容や共感や傾聴の姿勢）を持って、生徒指導に当たっている。」

今後、より一層、生徒達に対して受容や共感や傾聴の姿勢を持って成長を支援していく「生徒支援」を充実してまいります。また、未知の状況にも対応できるような「汎用的な力」、社会に出たときに通用するような「資質・能力」の育成に努めてまいります。

今回の学校教育自己診断の集計結果を謙虚に受け止め、職員一同、授業改善、指導力向上に努めてまいります。